

かいとうかいせつ
解答解説

3月号

解答

- 1 (1) 5 7 (2) 3 5 (3) 2 1 6 (4) 2 8 6 (5) 1 4 4 (6) 4 7 0 4
- 2 (1) 4 8 (2) A 6 B 7 2 【完答】 (3) 8 6 7 (4) 8 (5) 3 3 0 秒 (6) 右の図 【完答】
- 3 (1) 2 9 3 4 円 (2) 2 7 9 2 円 (3) 3 1 だい (4) 7 人 (5) 2 時から 3 時
- 4 (1) 6 0 (2) 2 4 0 3 (3) 8 4 0 (4) 1 4 5 5
- 5 (1) 1 4 時 2 0 分 (2) 4 時間 3 0 分 (3) 5 時間 5 0 分
- 6 (1) ① 0 ② 8 ③ 2 (2) 2 2, 2 3, 2 4, 3 3, 4 2 【完答】 (3) 4 7, 6 8, 7 4, 8 6

解説

- 3 (1) $489 \text{円} \times 6 = 2934 \text{円}$ です。
 (2) シャープペンは、 $400 \times 6 = 2400 \text{円}$
 けしゴムは、 $98 \times 4 = 392 \text{円}$
 合わせて、 $2400 + 392 = 2792 \text{円}$ です。
 (3) $35 \times 7 = 245 \text{だい}$ 、 $28 \times 8 = 224 \text{だい}$ なので、 $245 + 224 = 469 \text{だい}$ といていますから、のこりは、 $500 - 469 = 31 \text{だい}$ です。
 (4) カレーライスが好きな人は10人、ギョウザが好きな人は3人なので、その差は $10 - 3 = 7 \text{人}$ です。
 (5) 2時から3時は、24度から19度まで5度変化しています。グラフのかたむきが大きいことから、計算しなくてもわかります。
- 4 (1) $5 \times 12 = 60$ です。
 (2) $9 \times 267 = 2403$ です。
 (3) $7 \times 467 = 3269$ 、 $7 \times 347 = 2429$ から、 $3269 - 2429 = 840$ です。また、どちらも7をかけるので、7の467こから7の347こをひく計算として、7の(467 - 347 =) 120こ分の $7 \times 120 = 840$ とかんたんに計算することもできます。
 (4) 3れつ9だんの数は、 $3 \times 97 = 291$ です。その上下の数は、 $291 - 3 = 288$ 、 $291 + 3 = 294$ です。また、左右の数は、 $291 - 97 = 194$ 、 $291 + 97 = 388$ です。よって合計は、 $291 + 288 + 294 + 194 + 388 = 1455$ となります。
- <別解>
 まん中の数の5倍になることに気づけば、 $291 \times 5 = 1455$ とすることもできます。
- 5 (1) 午後の時こくは、12時間たすと24時制になります。2時20分 + 12時間 = 14時20分となります。
 (2) 24時制で考えると、9時50分に家を出て14時20分に帰ってきたので、 $14 \text{時} 20 \text{分} - 9 \text{時} 50 \text{分} = 13 \text{時} 80 \text{分} - 9 \text{時} 50 \text{分} = 4 \text{時間} 30 \text{分}$ となります。
- 6 (3) けん君が出た時こくと帰ってきた時こくを、それぞれ求めてから計算しても答えを出せますが、次のように考えた方がかんたんです。けん君はお母さんより1時間30分おそく家を出て、2時間50分おそくもどってきたので、 $2 \text{時間} 50 \text{分} - 1 \text{時間} 30 \text{分} = 1 \text{時間} 20 \text{分}$ 、お母さんより長く外に出ていたこととなります。したがって、(2)の答えに1時間20分をたして、 $4 \text{時間} 30 \text{分} + 1 \text{時間} 20 \text{分} = 5 \text{時間} 50 \text{分}$ となります。
- 6 (1) ① $2450 \rightarrow 0$
 ② $49 \rightarrow 36 \rightarrow 18 \rightarrow 8$
 ③ $389 \rightarrow 24 \times 9 = 216 \rightarrow 12 \rightarrow 2$
 (2) 1より大きい2つの数のかけ算の答えが1けたになる数の組み合わせです。(2, 2)(2, 3)(2, 4)(3, 2)(3, 3)(4, 2)となります。
 (3) かけ算の答えが6になる計算は、 1×6 、 2×3 、 3×2 、 6×1 です。答えが23になる1けたどうしのかけ算はありません。また、答えが61になる1けたどうしのかけ算もありません。そこで、16と32を考えます。
- 【16のとき】
 答えが16になるのは、 8×2 と 2×8 と 4×4 です。1けたどうしのかけ算で、答えが82になるものと44になるものはありません。28になるのは、 4×7 と 7×4 です。
- 【32のとき】
 答えが32になるのは、 4×8 と 8×4 です。1けたどうしのかけ算で、答えが84になるものはありません。48になるのは、 6×8 と 8×6 です。
- 以上のことから、47、74、68、86の4つとなります。

解答解説

3月号

解答

- | | | |
|---|----------------------------|------|
| 1 | ① なか | ② ね |
| | ④ たいわ | ⑤ そ |
| | ⑦ ふうしゅう | ⑧ 電池 |
| | ⑩ 外 | ⑪ 絵画 |
| | ⑬ 面会 | ⑭ 帰国 |
| 2 | ① エ | ② ア |
| 3 | ① ウ | ② イ |
| 4 | ① 目 | ② 耳 |
| 5 | 問一 イ・エ【順不同】 | |
| | 問二 隕石の大しようどつ | |
| | 問三 イ | |
| 6 | 問一 ウ | 問二 イ |
| | 問三 さからったら、頭から、くわれてしまいそうだった | |
| | 問四 ウ | |
| | 問五 まもなく川 | |
| | 問六 ア | |

解説

- 2 様子をあらわすことば**
- ① すらすら―なめらかに進むようす。
 ② ぐったり―弱って力のぬけたようす。
 イ：ひらひら―かるくてうすいものがゆれ動くようす。
 ウ：さっぱり―さらっとして気もちのよいようす。味などがあさりしているようす。まったく。
- 3 つなぎことば**
- ① だから―前の部分が原因や理由で、後がその結果や結論である関係をつなぐ。
 ② たとえば―前のことに対して、例をあげて説明する。
 ア：しかし―前の内容に対して、反対のことやちがったことが後にくる。
 エ：または―前のことと、後のことのどちらかを選ぶ。
- 4 慣用語**
- 慣用語とは、二つ以上のことばがいつしよになり、特別な意味を表す決まり文句です。
- ① 目がまわる―たいへんいそがしい。
 ② 耳にたこができる―同じことを何度も聞かされてあきる。
- 5 説明文**
- 藤井旭の『流れ星・隕石』へあかね書房から出題しました。本書は、流れ星や隕石の写真を多く使い、これまでの研究成果をわかりやすく説明しています。ところで、流れ星と隕石のちがいは何だかわかりますか。両方

とも元になるのは、彗星などから放出された小天体です。それが、大気中で燃えつきてしまうのが「流れ星」、小天体が少し大きめで、燃えつきずに地上に落下するのが「隕石」です。

問一 三段落目をよく読みます。「隕石のしようどつによってまいあがったちりが地球全体をつつみこみ、やみ夜が何か月もつづき」↓「植物はかれ、寒さとうえによって」恐竜は死にたえたというのです。

問二 ―線②の前の部分をよく読みます。
 こんな隕石の大しようどつは、何回もあり、**そのたびに**地球上ではたくさん生物がほろび、いわれています。

問三 ③の前後をよく読みます。
 隕石のはげしいしようどつが、くふしきな気がしませんか。
 ←**ところで**（前のことから話題をかえる）
 そんな大しようどつは未来にはおこらないのでしょうか。

6 物語文
 最上一平の『ゆつくり大きくなればよい』へポプラ社より出題しました。
 ゆたかな自然にかこまれた土地で、周囲の大人たちに見守られながら成長していく健たち。本書は、そんな健たちの日々の生活の中でおきた、四つの話で構成されています。それぞれにちよつと変わった「大人」が登場し、子どもたちはその大人との関わりの中でいろいろなことを感じ、時に、はく手をおくりたくなるような行動もおこします。

問一 百蔵さんに見つかってしまった健の気もちを想像してみてください。「こおりつくとは、このことだ。」「タスケテクダサイと心の中でいって」などのことばからも、「ぜったいぜつめい（どうしようもない困難な状態）」だとわかります。

問二 子どもたちからもおそれられている百蔵さんが、どうやら自分のことをよんでいるらしいと健は気づきます。しかし、百蔵さんが何を考えているのかわからない健は、こわさときんちようから体がガチガチになってしまったのです。「ぎごちない」とは、なめらかでないという意味です。

問三 百蔵さんに対して、どのようなことを思っているから健はことわれないのでしょうか。―線③の5行あとに、「さからったら、頭から、くわれてしまいそうだった」とあります。

問四 はじめて自分の手であゆをつつた健は、うれしい気もちでいっぱいだったでしょう。百蔵さんに手伝ってもらったとはいえ、そのうれしさから、自分の手が「光っているように思えた」のです。

問五 場所がはつきりとかわったところはどこからでしょうか。23行目「まもなく川についた」とあります。二人は沢から川に移動しています。

問六 口数は少なく、ぶつきらばうなところもある百蔵さんですが、健をいやがったり追いはらったりするそぶりはありません。健にとっては、少し無理矢理だったかもしれないが、健をつりにさそい、あゆをつらせてあげた百蔵さんからは、日ごろのかわりものという印象はかけをひそめ、子どもずきなやさしい一面が感じられます。